



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ

団体名 高野尻村をつくる会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	高野尻村をつくろうプロジェクト
事業実施区域(小学校区)	岡山市立牧石小学校区 高野尻町内
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 2 回目 (28 年度から)
課題	岡山市街地から北へ車で30分弱(岡山駅から12km)金山中腹の中山間地にありながら公共交通機関もなく過疎、高齢で限界集落化が進む地域です。以前は花や野菜などの生産を行っていた段々畑や農地も今では耕作放棄地が目立ちます。 かつては牧石小学校へ通うための道もありましたが、人口の減少により使われなくなりました。この集落も高齢と共に空き家も増え寂しくなりました。此处に一人でも多くの方々に来て頂き、定住の人口増加にならなくても、この集落にかかわる人々が増え出来る事から協力し集落の活性を図ります。 高野尻は現代の社会で失われつつある、結い(ゆい)の考えに基づいて形成された集落で有り、集落内には八幡宮やお大師様をはじめ多くの石仏が祀られていて大切に守られています。

事業の目的・目標	ここの集落に残る、結い（相互扶助組織）の考えを後世に伝える事も必要だと考えます。 「そしてこのような活動により他地域とのネットワークを形成し中山間地区の「新しい地域づくり」を目指します。このプロジェクトでは高野尻テラスを核に「子供の声が聞こえる地域づくり、住民が元気になる出会いふれあい作り」を目指し内容の充実を目指します。 ① 毎月定期的に村主催の行事をする事により住民の活動の場作り。 ② 昔からの習慣や季節ごとの行事をする事による伝承。 ③ 高野尻の豊かな自然環境を生かした子供や親子参加型の体験学習と田舎暮らしの体験。 ④ 村内で催事をする事で地域外の人との異世代交流を計り住民の暮らしの楽しみや健康維持につなげます。 ⑤ 集落内で採れた農作物の販売や集落内の耕作放棄地を整備した貸農園などで小さな経済を生み出します。
事業の内容	高野尻村から発信する季節感満載の定期的な体験活動、豊富な自然と地形を生かし、訪れる人の心と五感に感動を与えるような企画事業の実施 ①高野尻の四季折々の豊かな自然を生かした自然体験活動事業 ②耕作放棄地や里山を活用した手作りの子どもの遊び場事業 ③遊休地を使って花や野菜の栽培や収穫をする農業体験事業 ④地域に伝わる風習や季節ごとの催事伝承事業 ⑤高野尻の四季を感じながらの田舎暮らし体験事業 ⑥高野尻で何ができるか参加者持込企画による体験事業 ⑦高野尻村の魅力やイベント情報を発信するための広報事業 以上の活動を高野尻テラス及びテラス周辺を活用し事業展開していく。
期待される成果	村内で行事を開催することで多くの人たちが訪れ、住民の活動や交流の場が暮らしに刺激を与え楽しみが広がり、集落内の活性化につながります。又、人が訪れることで小さな経済が回ります。子どもの声が聞こえることにより地域の人たちが元気になります。 高野尻から情報を発信することで同じような問題(高齢化・過疎化の進む限界集落)を抱える地域に対して、地域づくりや暮らしの在り方のモデルケースとして提案出来ます。
企画などの工夫	1 企画事業の運営を住民みんなでを行い利用者との交流を計る 2 集落で発生した間伐材の有効利用を考えた遊具・遊び場づくりやクラフト 3 集落内の耕作放棄地や周辺の里山を使った外遊び体験 4 住民の経験と知識に基づく伝統行事や調理方の伝承などによる交流 5 集落内で収穫した野菜や果実を使った企画事業や余剰生産物販売 6 利用者からの提案(参加者の声を聴く)による企画事業の実施 7 Facebook 等の SNS 媒体等の積極的利用 8 学区内の観光、文化施設でのリーフレットの配布

協働する団体等	子どもの外遊びを推奨する団体 自然体験リーダーズクラブ 子ども達に遊びを通して自然の素晴らしさや大切さを伝える団体 NPO法人岡山市こどもセンター 招き猫美術館
事業の情報公開	平成 28 年度助成金で作成したリーフレットによる広報活動 テレビ・ラジオ・新聞等への情報発信と取材依頼 Web サイト・Facebook などを使った情報発信
学区地区への広がり	牧石小学校区内公共施設へのリーフレット配布や活動行事の発信 (岡山市北公民館・牧石郵便局・牧石コミュニティーハウス 招き猫美術館等) 学区内にある親子クラブや保育園・幼稚園・小学校への発信 牧石連合町内会のホームページへ毎月のイベント情報のチラシの掲載 2 か月に 1 回の牧石町内会会長会で各町内会会長に次の月のイベント情報を配布
前年度からの見直し拡充点	28 年度事業でのリーフレット等広報ツールの整備が遅れ高野尻村からの活動情報の発信が遅れ小範囲に終わった。29 年度事業においては早期にネット等の情報発信ツールの整備を行う。 学区内にある観光文化施設等と連携した事業の確立 高野尻テラスを利用した勉強会セミナー利用者への誘致（昨年に利用者への誘致） 高野尻村の自然や人材を使った子ども向けの体験活動プログラムの拡充 高野尻村利用者のリピーター確保（チラシを作り参加者への e-mail 発信、手紙の発送、各公民館に配置）
次年度以降の予定	①次年度以後の活動計画 高野尻村の自然環境や住民の人材を活用したプログラムの確立 前年度利用者に対しての広報活動 高野尻村を知らない人々の誘致 ②資金の確保について □次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ 5 ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 主催事業以外の高野尻テラス利用者を増やし収益の増収を計る 集落住民の野菜づくりや伝統的調理等の指導教室の開催などによる

その他PRしたい点

高野尻村には近年失われつつある結い(ゆい)の風習が今も残る地域です。集落内の草刈りや掃除活動、節目節目の神事などには、集落内に住む高齢者や近郊に住む子ども達が駆けつけ共同で作業を行います。地域の人たちによって守られた高野尻の自然環境を楽しめます。地域の人たちは神様を大切にし、集落入口の祠には四季折々の花が飾られています。道端には石仏も、集落内の道は狭く車の通行ができませんが、逆に集落内をゆっくり散策するには最適です。この自然豊かな高野尻村を核に子どもや親子向けの体験活動の場にしたいと考えます。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	山桜の花見と竹の子・わらび採り 28年度事業の反省会と29年度事業計画会議
5月	かしわ餅作りと鯉のぼりクラフト
6月	ホタル祭りとキャンドルナイト シソジュース作りとウォークラリー
7月	夏野菜の収穫と忍者になって遊ぼう 縁日ごっこと花火大会 キュウチャン漬け
8月	蕎麦の種まき 竹の器作りとそうめん流し キャンドル作りと夕涼み
9月	蕎麦の花見と小枝クラフト サツマイモの収穫体験と火で遊ぼう 29年度事業上半期反省会及び後期企画会議
10月	干し柿づくり体験 案山子づくり 木の実クラフト
11月	キウイフルーツ収穫体験 落ち葉で遊ぼう・フィールドビンゴ 季節の野菜で漬物作り
12月	冬野菜の収穫体験 クリスマス飾りづくり(お飾りづくり) お餅つき
1月	とんど焼きと火で遊ぼう 七草摘みと七草がゆ
2月	節分祭 凧作りと森で遊ぼう
3月	ひな祭りとお雛様づくり みんなで遊び場作り 29年度決算報告と反省会

毎月初めには主催事業に向けた企画会議と準備作業の日を設けます。

●そば打ち体験（蕎麦が収穫出来たら）●子供と一緒にパン作り

イベントとして何時出来るか判らない項目は講師のお方の予定もありますので講師料として15,000円の予算を組んでいます。

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	452, 100	400.000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	23, 923	130.000	高野尻村をつくる会より
参加者負担金	89, 200	220.000	イベントへの参加料
協賛金			
寄付、他収入		50.000	高野尻町内会野菜販売費
計	565, 223	800.000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	168.019	250, 000	バケツ 肥料 子供用杵 インクカートリッジ 替え刃等
食糧費	8, 148	10, 000	お茶代
印刷製本費	149, 910	70, 000	広報の為のチラシ
通信運搬費	9, 840	15, 000	切手代
手数料	648	1, 000	振り込み代
使用料	82, 600	120, 000	テラス使用料
原材料費	89.854	184, 000	画用紙、ロープ、材木等
委託費	10.000	50.000	Facebook高野尻村作成
旅費交通費	0	10.000	講師交通費
燃料費	7, 217	25.000	灯油代 草刈用ガソリン代
報償費	5, 000	15.000	講師料
光熱水費	33.987	50.000	電気、ガス、水道代
計	565.223	800.000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	☒ 希望する	・	☐ 希望しない
-----------	--	---	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

自己資金不足の為

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。